

令和8年度

杉並区立井草中学校 i 組 学級要覧



I 井草中学校 i 組の開設にあたって

杉並区では子どもの発達の様子や障がいの状態に応じて、適切な教育ができるように、知的障害、言語障害、難聴、情緒障害などの子どもたちを対象にした様々な教育の場を設けています。平成16年4月、区内の知的障害学級としては、大宮中、阿佐ヶ谷中、宮前中に次いで、4番目の施設として井草中学校に「i組」を開設しました。現在は杉並和泉学園と高円寺学園を含め、区内に6校の学級が設置されています。特別支援学級は、通常の学級の教育課程では効果的な学習が困難で、知的発達に特別な支援が必要であり、身辺自立や集団参加に特別な配慮を要する子どもたちを対象とした学級です。子どもたちが毎日、通って学習する「固定学級」です。

II 特別支援学級の特徴

1. 生徒一人一人の「個」に応じた指導
2. 少人数(1学級8名を基準)によるきめ細やかな指導
3. 具体的な経験・手や体を使う学習の重視
4. 通常の学級の生徒との交流教育の推進
5. 生活の自立、社会生活への参加を目指す指導

III 教育課程について

1. 学校教育目標

「自主自律 一創造性 豊かな心 健やかな身体」

2. 特別支援学級の教育目標

心身ともに健康で、明るく社会に関わる態度、必要な知識・技能及び思考力・判断力・表現力等の学習の基盤となる資質・能力や現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力の獲得・向上を目指す。

- ①基礎・基本を徹底し、学力の定着を図る
- ②未知の状況にも対応できる判断力、表現力を身に付ける
- ③基本的な生活習慣を身に付け、身辺自立の確立に努める
- ④ちがいを認め合い、自他を大切にす豊かな心の育成を目指す
- ⑤食や健康に対する知識とともに、基礎体力の向上に努め、健康な体をつくる

3. 学級の教育目標を達成するための基本方針

- ①日本国憲法、教育基本法、学校教育法施行規則等の諸法令及び学習指導要領、東京都教育ビジョン(第4次)、「杉並区教育ビジョン2022」、「『令和の日本型教育』の構築を目指して」等を踏まえ、人格の完成と自己有用感の醸成を目指す
- ②各教科の指導を通して、「生きて働く『知識・技能』の習得」「未知の状況にも対応できる『思考力・判断力・表現力等』の育成」「学びを人生や社会に生かそうとする『学びに向かう力・人間性等』の涵養」を指導の柱とする
- ③特別活動の時間を要とし、キャリア教育の指導を通して、「見つめる力(自己理解・自己管理能力)」、「関わる力(他者理解・人間関係形成能力)」、「見通す力(自己実現・キャリアプ

ランニング能力)」、「解決する力(主体的な学び・課題解決能力)」を身に付けさせる

- ④学習指導・生活指導・進路指導その他すべての教育活動の基盤となる人権教育を推進する
- ⑤カリキュラム・マネジメントを徹底し、組織的かつ計画的に教育活動の質の向上を図る
- ⑥世の中の諸事象に対し、生徒・教職員がすすんで関心を持ち、教育活動に地域人材や多様な機関等を積極的に活用し、社会に開かれた教育活動としての質を向上させるとともに厚みをもたせる
- ⑦総合的な学習の時間において、興味・関心に応じて自ら課題を設定し、追究する探究学習を行い、時代が求める力の基盤となる力を習得する
- ⑧多様性を包摂し、ちがいを認め合い、自分らしく生きるための特別支援教育の充実を図る
- ⑨ICTを効果的に活用し、個別最適な学びを一体的に充実させることで、主体的・対話的で深い学びを実現し、教育活動の質向上と情報活用能力の育成を図る
- ⑩各種調査結果を活用し、生徒・教職員の課題を確認し、改善を図りながら、世の中に貢献し、未来を切り拓く人材を育成する
- ⑪「学校運営協議会」「学校支援本部」「地教連」との連携により、いい町・いい学校をつくる
- ⑫生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、障害の状態や発達段階に応じた個別指導計画を作成し、生活面・教科学習等の中で適切な指導及び必要な援助を行う
- ⑬生徒や保護者の願いを基に学校生活支援シート(個別の教育支援計画)を作成し、理学療法士、言語聴覚士等と連携協力しながら活用する

IV 年間の行事

- 学校・学級の行事
- 杉並区連合行事



V i組の学習について

i組の学習は、学級を2グループ、3グループ、4グループに分けて行う小集団指導から一斉指導まで様々な指導形態で学習を行っています。また、グループ編成についても、課題別のグループや学年混合のグループ、学年別グループ等があります。学習効果が上がるよう工夫をしながら行っています。

		月	火	水	木	金	土	
1	8:50 9:40	学級活動	道徳	生活単元			○ 職業家庭 ☆ 美術	国語 教科
2	9:50 10:40	国語	国語	A 理科 B 社会 C 英語	○ 職業家庭 ☆ 美術	数学	教科	
3	10:50 11:40	音楽	総合	A 社会 B 英語 C 理科	○ 美術 ☆ 職業家庭	生活単元	教科	
4	11:50 12:40	体育	数学	A 英語 B 理科 C 社会	○ 美術 ☆ 職業家庭	体育		
給食	12:40 13:10	○	○	○	○	○		
休	13:10 13:30	○	○	○	○	○		
5	13:35 14:25	数学	生活単元	作業学習		赤 職業 青 音楽 黄 作業 赤 作業 青 職業 黄 音楽		
6	14:35 15:25	生活単元	体育		赤 音楽 青 作業 黄 職業	i組タイム		
	15:25 15:35	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導		

● i組時間割表(例)

※ i組タイムは授業時数が不足した授業に充てます。

● 主な学習内容

国語	音読、漢字、書写、作文、読解、まとめ学習・発表
社会	地理、歴史、交通、社会的事象
数学	数量、計算、計測、図形、時刻、金銭
理科	生物、化学、天体、自然現象、実験
英語	ローマ字、アルファベット、英単語、英会話
音楽	歌唱、器楽、合奏、鑑賞、和楽器
美術	絵画・デザイン、彫刻、工芸・版画
職業・家庭	刺繍、手芸・調理・木工・情報機器・マナー
作業	調理販売活動・清掃作業、畑作業
道徳	礼儀、思いやり、友情、勤労、自主、自立、向上心
体育	陸上競技、球技、スキー歩行練習、体力作り
学級活動	係活動、委員会活動、話し合い、発表
生活単元学習	行事の事前事後学習、移動教室の体験学習、プレゼン作り
総合的な学習	行事の事前・事後学習、交流活動、SDGs、職場体験

Ⅵ 進路指導について

1 卒業生の進学先実績

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
都立永福学園 (就業技術科) 都立江東特別支援学校 (職能開発科) 都立練馬特別支援学校 都立中野特別支援学校 東京文理学院 星槎国際高校	都立永福学園 (就業技術科) 都立練馬特別支援学校 都立中野特別支援学校 都立練馬工科高等学校 未来高等学校 東京文理学院	都立練馬特別支援学校 都立中野特別支援学校 東京文理学院	都立中野特別支援学校 都立永福学園 (就業技術科) 東京文理学院	都立中野特別支援学校 都立練馬特別支援学校 都立永福学園 (就業技術科) 都立志村学園 (就業技術科) 都立東久留米特別支援 学校(職能開発科)

特別支援学校(就業技術科、職能開発科、普通科)の入学選考、入学相談に向けた

- ・面接指導(面接時の行動様式、質疑応答の手順、応用問題への対応)
- ・作文指導(課題作文、絵の説明、志望動機、面接内容の文章化)などを行っています。

2 職場体験

中学2年時には、職場体験を行います。杉並区内の施設や作業所、実習所、一般企業等にご協力いただき、3日間程度の体験学習を行います。初めての通勤、初めての場所、初めての空間や初めての方々といふれあう中で、生徒は多くのことを学んでいます。

●過去の实習先

- 上井草スポーツセンター
- 荻窪郵便局
- 上井草保育園
- 駅前動物病院
- (株)ソシオ(清掃業務等)
- 井草中図書館
- とうふ屋らるご
- 荻窪警察署
- セブンイレブン
- 杉並区立今川図書館
- どんまい福祉工房
- 明生会ワクワーく

●教職員一覧

校長	2年担任	英語担当
副校長	3年担任	技術担当
学級主任	3年担任	美術担当
1年担任	介助員	言語療法士
1年担任	介助員	作業療法士
1年担任	介助員	

●生徒数

学年	男子	女子	合計
第1学年	7	9	16
第2学年	1	1	2
第3学年	9	1	10
合計	17	11	28